



2016年 9月1号 中央構造線近い・伊方原発（愛媛県）再稼働に抗議 原発再稼働に反対！

岐阜市議会 9月議会 **請願紹介** 松原のりかず 9月2日 開会冒頭

川内・伊方原発停止・脱原発を実現し、 自然エネルギー中心の社会実現 の意見書採択を求める請願

台風10号で大きな被害が出ております。お亡くなりになられた方々ご家族にお悔やみ申し上げます。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も速い復旧、復興をお祈り申し上げます。

請願の紹介をさせていただきます。はじめに、請願第6号（標記の請願）です。請願は、岐阜市黒野471-1 別処雅樹さんから提出されています。紹介議員は、服部勝弘、田中成佳、高橋和江、堀田信夫、井深正美、原菜穂子の各議員と、松原のりかず です。

東京電力福島第一原発における連続爆発及びメルトダウン事故によって、海、大気、大地が汚染されました。そして、事故後の汚染水対策は、未だ完成を見ない現状です。

8月31日には、また熊本を大きな地震が襲いました。震度7を2回も記録した熊本地震は、地震大国日本での原発稼働の危険性を強く示しています。伊方原発は、北側の伊予灘には国内最大級の活断層「中央構造線断層帯」があるとともに、佐多岬半島の付け根部分に立地。しかも、原発西側に約5000人の住人が生活されています。伊方原発再稼働に対し、狭い国土で住人はどこへ避難すべきか悩んでいます。・・・(略)

請願者は、原発廃止に向け政治のカジを切り、核エネルギー政策からの大転換を強く訴え、4点の要請を意見書として採択されることを岐阜市議会に求めています。 すなわち、

- 1 川内原発・伊方原発を直ちに停止すること。
- 2 原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした既存の原子力発電所の計画的な廃炉を実施すること。
- 3 もっとも危険なプルトニウムを利用する高速増殖炉「もんじゅ」及び核燃料再処理工場を運転せず、廃棄すること。
- 4 省エネルギー・自然エネルギーを中心に据えたエネルギー政策への転換を早急に始めること。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

無所属クラブ申入れ、細江市長に 「ただ長いだけの答弁はやめてほしい！」

理事者に簡潔な議会答弁を求める申し入れ 8月24日

岐阜市議会本会議代表質問・代表以外の質問を問わず、理事者答弁に「簡潔・明瞭」を求める声は、今日まで大きなものがありました。本年6月議会から「テレビ放映時以外の質問時間が、答弁を含み1人60分とする。」となった事で、理事者答弁の長時間化で「質問者の質問時間を大きく制限する」ことが危惧されていました。

6月議会の堀田信夫議員の質問では、堀田議員の1回目の質問が21分に対し、市長答弁14分、教育長答弁2分、市民参画部長答弁6分、消防長答弁3分、自然共生部長答弁3分、環境事業部長答弁2分、理事者は1回目の答弁に合計30分を費やしています。

そして、堀田議員の再質問5分に対し、市長答弁2分、教育長答弁1分、市民参画部長答弁1分の時点で合計60分となり、他の理事者答弁を聞けない事態となりました。

記録はテレビ放映時以外の質問も、本年6月議会以前は3回の質問を行なっても、概ね全体60分で終了しています。長時間化は多くは理事者の長時間答弁が原因でした。岐阜市民のための議会をより充実し、大切な審議時間を確保するために、理事者に「簡潔・明瞭」な答弁の努力をされることを申し入れます。

(細江市長への申し入れ文書)



松原のりかず

☎058-253-2500